

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーション I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	ゆっくりはっきりと話されれば,ALTの説明を理解することができる。	1・2	単元テスト	前期	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	身近な話題について約100語程度の英文を1回聞いて,概要を理解することができる。	3・4・5	単元テスト		
	L3 <input type="checkbox"/>	ゆっくりはっきりと話されれば,日常生活に関する対話を理解することができる。	6・7	単元テスト	後期	イ
	L4 <input type="checkbox"/>	身近な話題について約150語程度の英文を1回聞いて概要を理解することができる。	8・9・10	GTEC		
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	英検準2級程度,教科書と同程度の説明文や短い物語,伝記などの長文を辞書を使わずに読み,概要を理解できる。	1・2	単元テスト	前期	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	身近で具体的なトピックに関する400語程度の英文を85wpm程度で読み,内容を概ね理解することができる。	3・4・5	単元テスト		
	R3 <input type="checkbox"/>	英検準2級程度,教科書と同程度の説明文や短い物語,伝記などの長文を辞書を使わずに読み,概要を正確に理解できる。	6・7	単元テスト	後期	イ
	R4 <input type="checkbox"/>	身近で具体的なトピックに関する400語程度の英文を85wpm程度で読み,内容を正確に理解することができる。	8・9・10	GTEC		
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	簡単な英語を用いて,自分や学校のことについて,会話を続けようとするすることができる。	1・2	インタビューテスト	前期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	補助となるものを用いるなどして基本的な情報を伝え,また簡単な意見交換をすることができる。	3・4・5	ロールプレイ		
	SI3 <input type="checkbox"/>	ジェスチャーを交えながら,日常生活における身近な状況において,会話を続けることができる。	6・7	プレゼンテーション	後期	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	簡単な英語を用いて,ディベートをするなど,意見や気持ちをやりとりすることができる。	8・9・10	ディベート GTEC		
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	簡単な英語を用いて,1分間のスピーチをすることができる。	1・2	スピーチ	前期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	簡単な語句や文を使って,自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	3・4・5	スピーチ		
	SP3 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマについて,簡単な自分の意見とその理由を述べるることができる。	6・7	ディスカッション	後期	イ
	SP4 <input type="checkbox"/>	原稿を準備すれば,IT機器を活用しながら,身近なトピックについてある程度流ちょうに発表することができる。	8・9・10	プレゼンテーション GTEC		
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	簡単な英語を用いて30語程度のまとまりのある英文原稿を書くことができる。	1・2	エッセーライティング	前期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	5文程度で要約や感想を書くことができる。	3・4・5	単元テスト		
	W3 <input type="checkbox"/>	導入・展開・まとめを意識しながら,50語程度の英文を書くことができる。	6・7	エッセーライティング	後期	イ
	W4 <input type="checkbox"/>	50語程度で要約や自分の考えを書くことができる。	8・9・10	GTEC		

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	学 年:	普通科
科目名:	英語コミュニケーション I		大学科:	1年

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
前期	4	1	L	ア	単元テスト	L1□	ゆっくりはっきりと話されれば,ALTの説明を理解することができる。
			L	ア	単元テスト	L2□	身近な話題について約100語程度の英文を2回聞いて,概要を理解することができる。
	5	2	R	ア	単元テスト	R1□	英検準2級程度,教科書と同程度の説明文や短い物語,伝記などの長文を辞書を使わずに読み,概要を理解できる。
			R	ア	単元テスト	R2□	身近で具体的なトピックに関する400語程度の英文を85wpm程度で読み,内容を概ね理解することができる。
	6	3	SI	ア	インタビューテスト,ロールプレイ	SI1□	簡単な英語を用いて,自分や学校のことについて,会話を続けようとするすることができる。
			SI	ア	インタビューテスト,ロールプレイ	SI2□	補助となるものを用いるなどして基本的な情報を伝え,また簡単な意見交換をすることができる。
	7	4	SP	ア	スピーチ	SP1□	簡単な英語を用いて,1分間のスピーチをすることができる。
			SP	ア	スピーチ	SP2□	簡単な語句や文を使って,自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。
	8	5	W	ア	エッセイライティング	W1□	簡単な英語を用いて30語程度のまとまりのある英文原稿を書くことができる。
	9		W	ア	単元テスト	W2□	5文程度で要約や感想を書くことができる。
後期	10	6	L	イ	単元テスト	L3□	ゆっくりはっきりと話されれば,日常生活に関する対話を理解することができる。
			L	イ	単元テスト GTEC	L4□	身近な話題について約150語程度の英文を1回聞いて概要を理解することができる。
	11	7	R	イ	単元テスト	R3□	英検準2級程度,教科書と同程度の説明文や短い物語,伝記などの長文を辞書を使わずに読み,概要を正確に理解できる。
			R	イ	単元テスト GTEC	R4□	身近で具体的なトピックに関する400語程度の英文を85wpm程度で読み,内容を正確に理解することができる。
	12	8	SI	イ	プレゼンテーション GTEC	SI3□	ジェスチャーを交えながら,日常生活における身近な状況において,会話を続けることができる。
			SI	イ	ディベート	SI4□	簡単な英語を用いて,ディベートをするなど,意見や気持ちをやりとりすることができる。
	1	9	SP	イ	ディスカッション GTEC	SP3□	与えられたテーマについて,簡単な自分の意見とその理由を述べるることができる。
	2		SP	イ	プレゼンテーション	SP4□	原稿を準備すれば,IT機器を活用しながら,身近なトピックについてある程度流ちょうに発表することができる。
	2	10	W	イ	エッセイライティング GTEC	W3□	導入・展開・まとめを意識しながら,50語程度の英文を書くことができる。
	3		W	イ	単元テスト GTEC	W4□	50語程度で要約や自分の考えを書くことができる。

英語コミュニケーションI 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取りすること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。
「発表すること」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	大学科:	普通
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	はっきりとなじみのある英語で話されれば、日常生活以外の話題でも内容を理解することができる。	1・2	単元テスト	前期	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	日常生活以外の話題でも与えられた内容について約200語の英文を1回聞いて、概要を解することができる。	3・4・5	単元テスト		
	L3 <input type="checkbox"/>	はっきりと話されれば、自然に近い英語でも、日常生活以外の話題でも内容を理解することができる。	6・7	単元テスト	後期	イ
	L4 <input type="checkbox"/>	日常生活以外の話題でも与えられた内容について約300語程度の英文を1回聞いて概要を理解することができる。	8・9・10	GTEC		
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	英検2級程度、教科書と同程度の説明文を自分の考えと対比して読んだり、短い物語、伝記などを味わって読み、概要を理解できる。	1・2	単元テスト	前期	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	あまり抽象度の高くない内容であれば、身近な話題でなくても500語程度の英文を100wpm程度で読んで内容を概ね理解することができる。	3・4・5	単元テスト		
	R3 <input type="checkbox"/>	英検2級程度、教科書と同程度の説明文を自分の考えと対比して読んだり、短い物語、伝記などを味わって読み、概要を正確に理解できる。	6・7	単元テスト	後期	イ
	R4 <input type="checkbox"/>	あまり抽象度の高くない内容であれば、身近な話題でなくても500語程度の英文を100wpm程度で読んで内容を正確に理解することができる。	8・9・10	GTEC		
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	必要に応じて相手に聞き返しながら、身近な話題について、会話を続けることができる。	1・2	インタビューテスト	前期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	簡単な英語を用いて、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。	3・4・5	ロールプレイ		
	SI3 <input type="checkbox"/>	必要に応じて伝えたい内容の表現を言い換えながら、身近な内容について、情報や考えを交換することができる。	6・7	プレゼンテーション	後期	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	ある程度社会性のある話題について、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。	8・9・10	ディベート		
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	やさしい英語を用いて、2分間のスピーチをすることができる。	1・2	スピーチ	前期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマについて、自分の意見を述べるができる。	3・4・5	スピーチ		
	SP3 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマに対し、賛成・反対の立場を明確にした上で、流れに注意しながら自分の意見を述べるができる。	6・7	ディスカッションセッション	後期	イ
	SP4 <input type="checkbox"/>	原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、ある程度社会性のある話題についてある程度流ちょうに発表することができる。	8・9・10	プレゼンテーション		
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマに対して、100語程度のまとまりのある英文を書くことができる。	1・2	エッセーライティング	前期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	適切な表現や正確な文法を用いて80語程度に要約することができる。	3・4・5	単元テスト		
	W3 <input type="checkbox"/>	与えられたテーマに対して賛成・反対の立場を明確にし、首尾一貫した100語程度の英文を書くことができる。	6・7	エッセーライティング	後期	イ
	W4 <input type="checkbox"/>	自分の意見を含めて100語程度にまとめることができる。	8・9・10	GTEC		

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	学 年:	2
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
前期	4	1	L	ア	単元テスト	L1□	はっきりとなじみのある英語で話されれば、日常生活以外の話題でも内容を理解することができる。
			L	ア	単元テスト	L2□	日常生活以外の話題でも与えられた内容について約200語の英文を1回聞いて、概要を解することができる。
	5	2	R	ア	単元テスト	R1□	英検2級程度、教科書と同程度の説明文を自分の考えと対比して読んだり、短い物語、伝記などを味わって読み、概要を理解できる。
			R	ア	単元テスト	R2□	あまり抽象度の高くない内容であれば、身近な話題でなくても500語程度の英文を100wpm程度で読んで内容を概ね理解することができる。
	6	3	SI	ア	インタビューテスト、ロールプレイ	SI1□	必要に応じて相手に聞き返ししながら、身近な話題について、会話を続けることができる。
			SI	ア	インタビューテスト、ロールプレイ	SI2□	簡単な英語を用いて、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	7	4	SP	ア	スピーチ	SP1□	やさしい英語を用いて、2分間のスピーチをすることができる。
			SP	ア	スピーチ	SP2□	与えられたテーマについて、自分の意見を述べるができる。
	8	5	W	ア	エッセイライティング	W1□	与えられたテーマに対して、100語程度のまとまりのある英文を書くことができる。
	9		W	ア	単元テスト	W2□	適切な表現や正確な文法を用いて80語程度に要約することができる。
後期	10	6	L	イ	単元テスト	L3□	はっきりと話されれば、自然に近い英語でも、日常生活以外の話題でも内容を理解することができる。
			L	イ	単元テスト GTEC	L4□	日常生活以外の話題でも与えられた内容について約300語程度の英文を1回聞いて概要を理解することができる。
	11	7	R	イ	単元テスト	R3□	英検2級程度、教科書と同程度の説明文を自分の考えと対比して読んだり、短い物語、伝記などを味わって読み、概要を正確に理解できる。
			R	イ	単元テスト GTEC	R4□	あまり抽象度の高くない内容であれば、身近な話題でなくても500語程度の英文を100wpm程度で読んで内容を正確に理解することができる。
	12	8	SI	イ	プレゼンテーション	SI3□	必要に応じて伝えたい内容の表現を言い換えながら、身近な内容について、情報や考えを交換することができる。
			SI	イ	ディベート	SI4□	ある程度社会性のある話題について、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	1	9	SP	イ	ディスカッション	SP3□	与えられたテーマについて、自分の意見を述べるができる。
			SP	イ	プレゼンテーション	SP4□	原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、ある程度社会性のある話題についてある程度流ちょうに発表することができる。
	2	10	W	イ	エッセイライティング GTEC	W3□	与えられたテーマに対して賛成・反対の立場を明確にし、首尾一貫した100語程度の英文を書くことができる。
			3	W	イ	単元テスト GTEC	W4□

英語コミュニケーションⅡ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鶴丸	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 自然な速さの標準的な英語であれば、母語話者同士の対話やニュースなど与えられた話題を概ね理解することができる。	1・2	単元テスト	前期	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 与えられた内容について約400語程度の英文を1回聞いて概要を理解することができる。	3・4・5	単元テスト		
	L3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 自然な速さの英語であれば、母語話者の話す比較的長い対話や環境音などを含んだ英語を概ね理解することができる。	6・7・8	単元テスト	後期	イ
	L4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 与えられた内容について約3分程度の英文を聞いて概要を把握することができる。	9・10・11	単元テスト		
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 英語検定準1級程度、教科書と同程度の英文を、詳細を理解したり、文章の良さを味わって読んだり、書かれている情報や考えなどを自分の考えなどと対比させながら読み進めることができる。	1・2	単元テスト	前期	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 抽象度に関係なく、100wpm程度で英文を読み、内容を理解することができる。また、抽象度が高くなければ、120wpm程度で英文を読み、内容を理解することができる。	3・4・5	単元テスト		
	R3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 英語検定準1級程度、教科書と同程度の英文を、詳細を理解したり、文章の良さを味わって読んだり、書かれている情報や考えなどを自分の考えなどと対比させながら正確に読み進めることができる。	6・7・8	単元テスト	後期	イ
	R4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 抽象度に関係なく、100wpm程度で英文を読み、内容を正確に理解することができる。また、抽象度が高くなければ、120wpm程度で英文を読み、内容を正確に理解することができる。	9・10・11	単元テスト		
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 時事問題や社会問題について、情報や考えを交換することができる。	1・2	インタビューテスト	前期	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 様々な話題に関するスピーチを聞いて、それについて質問をしたり、自分の意見を述べたりすることができる。	3・4・5	ロールプレイ		
	SI3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 会話を円滑にする表現を用いながら、時事問題や社会問題について、情報や考えを交換することができる。	6・7・8	プレゼンテーション	後期	イ
	SI4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 社会性のある話題に関するスピーチを聞いて、それについて質問をしたり、自分の意見を述べたりすることができる。	9・10・11	ディベート		
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 様々な話題について、自分の意見を交えながら3分程度のスピーチをすることができる。	1・2	スピーチ	前期	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 教科書レベルの文章を口頭で要約したり、文章に対する意見を述べたりすることができる。	3・4・5	スピーチ		
	SP3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、社会性のある話題について効果的な表現を駆使して発表することができる。	6・7・8	ディスカッションテーション	後期	イ
	SP4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ある程度まとまりのある文章を口頭で要約したり、文章に対する意見を述べたりすることができる。	9・10・11	プレゼンテーション		
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 150語程度の序論・本論・結論の段落構成からなる英文を書くことができる。	1・2	エッセーライティング	前期	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 120語程度で要約することができる。	3・4・5	単元テスト		
	W3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 150語程度の序論・本論・結論の段落構成からなる英文を、20分以内で書くことができる。	6・7・8	エッセーライティング	後期	イ
	W4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 150語程度で要約することができる。	9・10・11	単元テスト		

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立	高等学校	学 年:	3年
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
前期	4	1	L	ア	単元テスト	L1□	はっきりとなじみのある英語で話されれば、日常生活以外の話題でも内容を理解することができる。
			L	ア	単元テスト	L2□	日常生活以外の話題でも与えられた内容について約200語の英文を1回聞いて、概要を解することができる。
	5	2	R	ア	単元テスト	R1□	英検2級程度、教科書と同程度の説明文を自分の考えと対比して読んだり、短い物語、伝記などを味わって読み、概要を理解できる。
			R	ア	単元テスト	R2□	あまり抽象度の高くない内容であれば、身近な話題でなくても500語程度の英文を100wpm程度で読んで内容を概ね理解することができる。
	6	3	SI	ア	インタビューテスト、ロールプレイ	SI1□	必要に応じて相手に聞き返ししながら、身近な話題について、会話を続けることができる。
			SI	ア	インタビューテスト、ロールプレイ	SI2□	簡単な英語を用いて、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	7	4	SP	ア	スピーチ	SP1□	やさしい英語を用いて、2分間のスピーチをすることができる。
			SP	ア	スピーチ	SP2□	与えられたテーマについて、自分の意見を述べることができる。
	8	5	W	ア	エッセイライティング	W1□	与えられたテーマに対して、100語程度のまとまりのある英文を書くことができる。
9	6	W	ア	単元テスト	W2□	適切な表現や正確な文法を用いて80語程度に要約することができる。	
後期	10	7	L	イ	単元テスト	L3□	はっきりと話されれば、自然に近い英語でも、日常生活以外の話題でも内容を理解することができる。
			L	イ	単元テスト GTEC	L4□	日常生活以外の話題でも与えられた内容について約300語程度の英文を1回聞いて概要を理解することができる。
	11	8	R	イ	単元テスト	R3□	英検2級程度、教科書と同程度の説明文を自分の考えと対比して読んだり、短い物語、伝記などを味わって読み、概要を正確に理解できる。
			R	イ	単元テスト GTEC	R4□	あまり抽象度の高くない内容であれば、身近な話題でなくても500語程度の英文を100wpm程度で読んで内容を正確に理解することができる。
	12	9	SI	イ	プレゼンテーション	SI3□	必要に応じて伝えたい内容の表現を言い換えながら、身近な内容について、情報や考えを交換することができる。
			SI	イ	ディベート	SI4□	ある程度社会性のある話題について、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。
	1	10	SP	イ	ディスカッション	SP3□	与えられたテーマについて、自分の意見を述べることができる。
			SP	イ	プレゼンテーション	SP4□	原稿を準備すれば、IT機器を活用しながら、ある程度社会性のある話題についてある程度流ちょうに発表することができる。
	2	11	W	イ	エッセイライティング GTEC	W3□	与えられたテーマに対して賛成・反対の立場を明確にし、首尾一貫した100語程度の英文を書くことができる。
W			イ	単元テスト GTEC	W4□	自分の意見を含めて100語程度にまとめることができる。	

英語コミュニケーションⅢ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。